

第12回ガイド実践入門「浅草」研修終了報告
2017年11月28日（火）実施 本部運営委員会

11月28日（火）午前10時から午後1時まで、浅草寺と浅草神社のモデルガイドイングと参加者によるガイド実践体験を実施しました。今回は昨年7月に続く2回目の浅草ガイド実践研修です。参加者は関東地区のみならず、新潟、愛知、茨城からもご参加頂き、17名（JGA会員14、非会員1、委員2）でした。参加者の中の9人は当ガイド実践入門研修シリーズに2回目から9回目のご参加で、既にガイド知識も豊富でした。先輩ガイドの実地でのガイドイングを見聞きすることは貴重な機会であり、更に、自分でガイドイングの練習を実地で行うことも得難い経験です。毎回、このシリーズでは参加者の熱意と終了後の皆様の達成感と自信に溢れた様子に、研修の成果を感じさせられます。今回は初めに長屋正子本部運営委員の英語によるモデルガイドイングで雷門の説明から始まりました。雷門の前はいつも人だかりでお客様は写真をとるのに夢中ですので、それらを避けて説明する場所を選びました。そして、仲見世通りの中の特徴のあるお店を紹介しながら宝蔵門まで歩きました。その後は矢木野さか恵副会長による英語でのモデルガイドイングで、宝蔵門、五重塔、常香炉、本堂、影向堂等を説明し、最後に浅草神社で神仏習合の説明も加えました。参加者は矢木野講師の熱の籠ったガイドイングに魅了されました。



後半、参加者は4グループに分かれ、雷門から始まり浅草神社まで各自、英語でガイドイング体験を順番に行いました。初めは慣れない様子もあり、資料を見たりしていましたが、何度も自分の番が回りガイド練習をしていく内に、皆さん慣れてきてスムーズで分かりやすいガイドイングになってきました。ご自分で練習するばかりでなく、他の参加者のガイドイングを聞くことも大いに参考になります。最後に参加者からの質問と各グループリーダーからのコメントを頂き、充実した浅草ガイド実習研修は終了しました。今回のガイド実践の経験は今後の皆様のお仕事に大いに役立てて頂けるものと確信致します。